様式３(2020.06改)

作成日　令和　4年　3月　9日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390500342
事業所名	高齢者グループホームかめじま

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	外部とはできませんが、敷地内の事業所とは感染症対策に配慮した交流があります。併設のサービス付高齢者高齢者向住宅の作品展示では、開始前に作品見学をさせてもらえたほか小さなプレゼントもあり、利用者の気分転換の一環に実っています。また法人組合員の企画したフルート演奏会では衛生管理の下、数名ずつの参加でしたが穏やかな時間を過ごすことが叶いました。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	新型コロナウイルスの感染が広がったことにより書面開催となっていますが、市役所並びに地域包括支援センターには２ヶ月分の活動内容を議事録の代替として届けています。このような状況から、主には利用者家族や医師からの意見、要望を仰ぎサービスに反映させるようにしています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	当事業所は令和2年10月の新規開設で外部評価の受審も「初めて」です。開設にあたっては行政の力添えが得られ、また現在に至っては住宅費の助成に係る相談や更新業務で管理者や介護支援専門員がそれぞれ窓口に出向いています。市からはマスクや手袋、PCR検査キットの提供もあるほか、地域包括支援センターとは空き情報などで情報共有できています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族の意向には速やかに対応することを旨としています。例えば、居室担当者が手書きでお便りを毎月出していましたが「読みにくい」との家族意見を検討、今月からはパソコンの打ち出しにする予定です。リビングにはソファーを2つ置き、いつでも利用者の話が聞けるようにしており、「寝れない…」と起き出してきたときは夜半の茶話会になることもあります。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	○									